こじか荘かわら版

秋

祝　敬老会

式典にて

来賓御招待

素敵な笑顔が

実りました!!

通所

日中暑いと感じる日もありますが、日が暮れるのが少し早くなり、虫の音が聞こえるようになりました。少しずつ秋本番へと歩みを進めているようです。季節の変わり目は体調を崩される方もおられますので、ご利用者の健康面に留意した支援をさせていただきたいと思います。

8月22日(木)には、暑い夏を元気に過ごしていただきたいとの思いを込めて「夏祭り」を開催しました。ボランティアさんをお招きし、歌や楽器演奏を楽しんでいただいた後は、お神輿の登場もありました。昼食は、「そうめん、てんぷらの盛り合わせ、プリンアラモード」の豪華メニュー、おやつにはアイスクリームを楽しんでいただきました。9月は「敬老月間」でした。こじか荘でも、9月12日木に「敬老会」を開催させていただきました。百歳以上の方が3名もおられ、人生の先輩方を敬い感謝する気持ちを込め、ご長寿とご健康をお祝いさせていただきました。

（特養課長　香川直規）

職員紹介インタビュー

もっと聞きたい！食事の感想

ヨロシクお願いいたします

目でも美味しい食事を

調理員
古胡美貴さん

――まずはご出身を教えて下さい。

古胡　生まれも育ちもずっと三次です。三次から出ようかと考えた事もありましたが、知らない土地で生活する事を考えると不安が大きくて、断念しました。やはり、住み慣れた土地が、安心できて好きです。

――学校卒業後は？

古胡　学校を卒業して、しばらくは製造業に携わっていました。が、母が調理の仕事をしていたこともあり、家に帰ると見た目にもおいしそうな食事がたくさん並んでいて、いつ頃からか「楽しそうだな。」「自分でも作ってみたいな。」と思うようになっていました。そんな時、調理員の募集を見つけ、未経験でしたが申し込みをしたのが、こじか荘でした。

――仕事をしてみてどうでしたか？

古胡　私が就職した時の厨房は、年配の方がほとんどで、「大丈夫？」と気にかけていただくなど、とても良くしてもらいました。調理未経験なので覚える事が多く、最初は気持ちに余裕がありませんでした。ですが、先輩方から親切に教えてもらったり、話を聞いてもらったりして、仕事を覚えて行く事ができました。気付けば就職して10年が過ぎました。その間に育児休業を3回取らせてもらい、周りの方にたくさん助けてもらったおかげで、今まで勤め続ける事ができたと思っています。育児休業後、復帰しても居場所を作ってくださった事、都合に合わせて勤務の調整をしてくださる事、接しやすく話しやすい空気や雰囲気を作ってくださる同僚のみんなに感謝しています。おかげで、今では料理のレパートリーがとても増えました。

――苦労したことは？

古胡　母から料理を習うことが少なかったので、初めはとても覚えることが多くて大変でした。大きさや硬さ、味付けなど普段の家庭で作るより気を付けるポイントがたくさんありました。調理とは関係ないですが、人に話し掛けるのが苦手なんです。人見知り…程ではないですが、恥ずかしがりなんですかね？慣れるまでに時間が掛かってしまったり、「こんな話しても、おもしろくないかな？」とかを考えだすと、話せなくなってしまって…。

――やりがいを感じる時は？

古胡　厨房の中にいる事がほとんどで、料理の感想を聞く事があまりないので、ご利用者の「おいしそう。」などの声が聞こえてきた時にやりがいを感じます。配膳準備などする時の介護士の方々の反応も嬉しく、支えになるのでどんどん聞かせてほしいです。食べ残しが多い時は凹んでしまいますが、逆に少ないと嬉しいです。他にも、行事の時のお弁当は品数が多く普段より大変ですが、段取りを考えたり、忙しく動いている時にも充実感や、やりがいを感じます。食材の形を考えて切ったり、型抜きをする時は楽しいです。気付いて下さると嬉しいなぁと思いながらやっています。余裕があれば増やしていきたいので気に掛けて見てみて下さい。

――これからやってみたい事や目標やモットーは？

古胡　うーん。「美味しいものを安全に提供する」ですかね？時間に追われても、食欲が沸くような盛り付けを工夫したいと思っています。経験年数を重ねると先輩の立場となり、引っ張っていかないと思う事がありますが、言い過ぎてもいけないし、偉そうになるかなと思うと、つい言いそびれてしまう事があります。ですが、責任のある仕事なので、人を育てられるような人になっていきたいです。あとは、コロナ禍以降はご利用者と話す機会も減ってしまったこともありますが、もっとご利用者のみなさんや職員の方と関わる機会を増やして、ご利用者の顔と名前が一致するよう努力していきたいです。家庭や仕事で色々な出来事がありますが、力を入れたり抜いたりしながら、元気に楽しく過ごせるように日々頑張っていきたいです。

ありがとうございました。

インタビューを終えて

いつも周りの人を気にかけている様な優しさが伝わりました。毎日当たり前のように食べている食事も、ただ作るのではなく、少しでもご利用者の食欲をそそるように考え、工夫している事が分かったインタビューになりました。今後はご利用者の声をしっかり伝えていきますね。

広報委員
野々原克哉

編集後記

こじか荘かわら版を読んで下さりありがとうございます。実は今回で200号でした。今までの先輩方の積み重ねで今回号に携わる事ができ光栄に思います。写真を選んでいる時、ご利用者・職員の笑顔や行事の様子を見ていますと沢山の思い出が蘇り1日1日が積み重なっていく事の尊さ貴重さを感じます。

これからもこじか荘の様子をお伝えできるよう編集して参ります。次回号もお楽しみに!!

寄付

八幡女性会様
ウエス　1箱

ありがとうございました

ボランティア

7月		
20日	むすび会様	（シーツ交換）
26日	鯰谷美紀枝様	（散髪）
27日	やすらぎ隊様	(草取り)
8月		
22日	あっとほーむ様	（演奏）
23日	鯰谷美紀枝様	（散髪）
24日	やすらぎ隊様	（草取り）
9月		
12日	グリーン畠山様	（手品）
28日	やすらぎ隊様	（草取り）

こじか荘のひとコマ

今年の夏も猛暑で、脱水や熱中症を心配する毎日でした。そんな中、デイサービスの夏祭りはとても盛り上がり、暑さを吹き飛ばすような勢いでした。輪投げやどんちゃん、盆踊りをして、たくさんの笑い声が響き渡る楽しい時間を過ごしていただきました。9月にはご利用者の皆様のご長寿をお祝いし、健康とご多幸を祈念して敬老会を開催しました。日頃の感謝の気持ちを込めて、職員全員で心よりお祝いをさせていただきました。これからもお元気に過ごしていただきたいと思っております。（通所課長　西村恵子）

夏祭り

特養

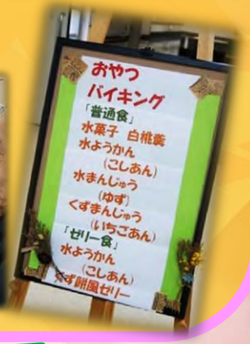
通所

敬老会第三部

マジックショー

秋の作品

おやつバイキング



日常の様子

いつものメンバーで

荘内にて

相撲観戦

今日のニュースは

皆でエプロンたたみ

おやつ

昼下がりの廊下で

物故者追悼法要

書道

荘内研修

食中毒の対応について学びました

誕生日

寿 米寿 寿

地元消防団による こじか荘火災想定訓練